

成瀬悟策先生追悼シンポジウム

「成瀬悟策先生のご功績と思い出を振り返る(案)」

日時:2020年2月2日(日)14時00分～15時00分

会場: 東洋学園大学 1号館2階フェニックスホール

対談者: 鶴光代(東京福祉大学 日本催眠医学心理学会 元理事長)

齋藤稔正(立命館大学 日本催眠医学心理学会 元理事長)

司会 :長谷川明弘(東洋英和女学院大学)

我が国の催眠研究の先駆者であり、本学会の創設に尽力され、名誉理事長でもある成瀬悟策先生が、2019年8月3日に享年95歳で御逝去されました。本シンポジウムは成瀬先生へ追悼の意を表すとともに、成瀬先生の本学会や、日本リハビリテーション心理学会、日本心理臨床学会、日本臨床動作学会等における足跡を振り返りつつ、先生が我々にどのようなことを教えてくださったのかを感謝と敬意を込めて皆様と時間を共有したいと思います。

成瀬先生から直接指導を受けて薫陶を受けたり、学術活動の中で強い接点をお持ちであったりした鶴光代先生と齋藤稔正先生をお招きし、会場内の方も交えて成瀬先生のご功績とお人柄を偲びたいと思います。

長谷川明弘(東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科/飯森クリニック)

効果的で効率的な実践を目指そうとするブリーフサイコセラピーの実践研究と合わせて個人、家族、集団、組織を対象として生涯にわたる発達段階への支援に取り組んできた。特に心理療法(ブリーフサイコセラピー;ブリーフセラピー・家族療法、臨床動作法、催眠法)を専門とする。医療・福祉・教育・産業領域にて臨床実践を続けてきた。また、「生きがい」をテーマとした博士論文で博士(都市科学)を東京都立大学から授与。臨床心理士、認定催眠士、臨床動作士、公認心理師。日本催眠医学心理学会常任理事。日本ブリーフサイコセラピー学会常任理事。